

## 1 どういう性格・パーソナリティか

型	性格の側面	弱	強	指数
思索型	内閉性：孤独な面があり内省するタイプ	<div style="width: 25%; background-color: #ff69b4;"></div>		31
	客観性：思慮深く冷静に判断するタイプ	<div style="width: 40%; background-color: #808080;"></div>		47
活動型	身体性：活動的で機敏に動き回るタイプ	<div style="width: 75%; background-color: #0000ff;"></div>		74
	気分性：気分で行動に変化があるタイプ	<div style="width: 65%; background-color: #0000ff;"></div>		68
努力型	持続性：何事も粘り強くやり通すタイプ	<div style="width: 45%; background-color: #808080;"></div>		45
	規則性：規則等を重視し行動するタイプ	<div style="width: 40%; background-color: #808080;"></div>		44
積極型	競争性：競争心が強く積極的に動く傾向	<div style="width: 55%; background-color: #808080;"></div>		59
	自尊心：自らのプライドを尊重する傾向	<div style="width: 45%; background-color: #808080;"></div>		41
自制型	慎重性：慎重に見通しをつけて動く傾向	<div style="width: 50%; background-color: #808080;"></div>		53
	弱気さ：考えすぎて遠慮がちになる傾向	<div style="width: 40%; background-color: #808080;"></div>		51

■この人の中心性格は「活動・身体性」および「活動・気分性」であるが、「積極・競争性」や「自制・慎重性」といった側面も本人は意識している。

●「活動・身体性」及び「活動・気分性」の人のパーソナリティスケッチ  
 身が軽く、思い立ったことを素早く実行に移すことができるタイプです。行動はテキパキしていて、体を動かして物事を解決していく人といえるでしょう。また、環境への適応力があり、状況の変化にもたやすくついていけますから、慎重さがともなえば良いリーダーになりうる人材です。調子に乗れば、仕事は早いのですが、気分屋なところがあり、元気よく仕事をしていたかと思うと、静かにちんまりとしていることがあります。人間的には温かくて人なつこい性格で、世話好きな面がみられます。ただ、長続きしないところがありますから、自分自身で自覚し、予防するように気をつけるといいでしょう。

●もう一方の性格特性  
 内にこもったところはなく、外向的な人といえます。関心は常に社会的な出来事に向かい、職場の雰囲気などにも気を使う、気配りのできる人です。自分の殻に閉じこもり、孤独に生きていくというものは程遠いところにいます。ただ、夢や空想、芸術的な生き方には興味がなく、ワビ・サビという部分は見られません。

### <この帳票の見方>

自己分析シートでは、性格、社会性、意欲の側面から診断しています。  
 まず1ページ目では、あなたの中心性格を示し、次に日常生活場面での行動傾向を述べています。また、あなたの強み・弱みの把握ができるよう、具体的なアドバイスも記述されています。心理イメージに描かれている顔のイラストは、顔と人間の性格についてよく言われる言い回しをもとにあなたのモニターージュを作成しました。外見的な顔ではなく、心の顔を絵で写し出そうとしたものです。  
 2ページ目では、具体的な職場場面での対応力、自己評価と行動予測をグラフで示しています。対応力や行動予測は、1ページ目の診断結果より、あなたの行動傾向を予測したものです。  
 あなたが思う本当の自分とのズレを感じる部分もあるかと思いますが、この診断結果によって、自分を見つめ直し、自己理解を深める機会ととらえて下さい。さらなる向上を目指すには、まず自分自身を知ることが大切です。自分を知り、さらなる向上を目指す手だてとして、ご活用下さい。

## 2 一般的な場面での社会性

社会性の側面	弱	強	指数
積極性・活発度	<div style="width: 85%; background-color: #0000ff;"></div>		71
周囲との協調性	<div style="width: 90%; background-color: #0000ff;"></div>		74
責任感・一貫性	<div style="width: 40%; background-color: #808080;"></div>		42
自分への信頼度	<div style="width: 50%; background-color: #808080;"></div>		47
指導・指示傾向	<div style="width: 75%; background-color: #0000ff;"></div>		66
仲間との共感性	<div style="width: 80%; background-color: #0000ff;"></div>		63
感情の安定度合	<div style="width: 30%; background-color: #ff69b4;"></div>		36
他者への従順性	<div style="width: 45%; background-color: #808080;"></div>		52
自ら進んで実行	<div style="width: 55%; background-color: #808080;"></div>		54
社会的自我確立	<div style="width: 40%; background-color: #808080;"></div>		50

●「感情の安定度合」について  
 感情の安定度合とは、日常を含む精神面での落ち着きや、物事の処理、時間配分に対処する場合の感情リズムを表し、その時、場面での自己の波長がどの程度安定しているかを示しています。この傾向が低い場合は、  
 ▼多少のことで動揺してしまうことがあり、誰かがいると落ち着いて作業ができないこともある  
 ▼気分が落ち着かない、気持ちにムラがあるなど、その時、状況などによって調子に変化するということが考えられます。仕事内容や役割分担を正しく理解し、仮に突発的に何か起こった時や気分的にヤル気が低下した場合でも、なるべく自分の気持ちを安定させ、状況を整理しようとする努力が必要です。

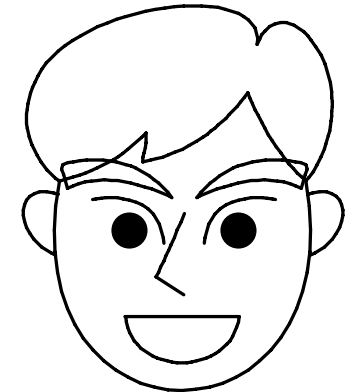
●「周囲との協調性」について  
 周囲との協調性とは、人との輪を大切に、他人への協力などを惜しまない姿勢のことです。仲間と共通の目標にむかう時や、組織内での集団作業を円滑にすすめるために必要なものですが、この傾向が強い場合は、  
 ▼自分の考えがあっても、周囲の意見やその場の雰囲気の流れに流され、それに合わせてしまう  
 ▼他人のことを考えすぎて、自らの積極的な提案や結論が出せなくなってしまう  
 といった行動になることがあります。組織では協調性も大切なことですが、もう少し自己主張をしてみたり、自分らしさをアピールするとグループ全体の活気にもつながり、新たな展開等が生まれる可能性もあります。

## 3 心理イメージ

■心理イメージをイラストであらわすと

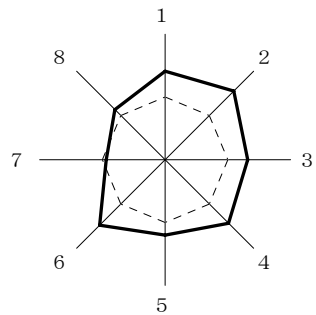
活動的な性格 → 丸顔  
 他人の忠告を適度に聞き入れる → まっすぐな眉  
 周囲を引っ張っていく → 太い眉  
 ヤル気あふれている → 大きな瞳  
 新しいことをとりいれたい → 目尻が上がっている  
 目立ちたがり屋ではない → 普通の鼻  
 人と一緒にいるのが好き → 笑った口元

となり、右のような顔ができあがります。



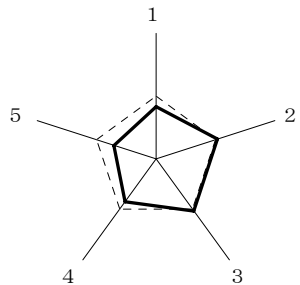
4 仕事場面での対応力

■何事にも積極的な姿勢で取り組む傾向



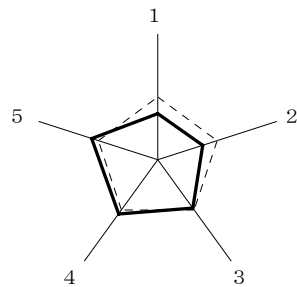
どんなときにも積極的に仕事に取り組もうとしている様子がうかがえます。仕事に対する興味、役割認識などもできているようで、自信を持っておこなっていることと思われます。時間配分や目的達成への計画などにも気を配り、さらに実力を発揮していくよう、今後のますますの健闘を期待します。

■ねばり強く最後までやろうとする傾向



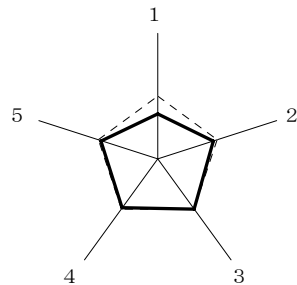
何でも中途半端に投げ出ししてしまうわけではありませんが、興味がなくなったりすると、やめてしまうことがあるようです。最後までがんばりぬくには、手がけていることへの関心や理解を深めていくことも大切です。継続的な努力のためにも、自分の立場を再確認し、果たすべき役割について考えてみるといいでしょう。

■人に頼らず自分の力で成し遂げる傾向



自分の力を信じて先へ進むよりも、周囲に合わせて穏やかに過ごしたい思いのほうが強いようです。ただし、単なる仲良し集団で終わってしまうのではなく、自分らしさを発揮したいならば、気になることや興味のあることを追求していくべきです。ときには周囲の思惑やなれ合い的な態度に背を向けてみるのもいいでしょう。

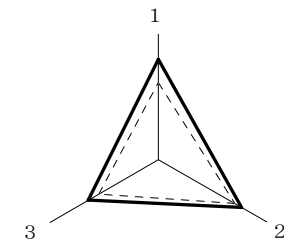
■強い意志を持ち前に進もうとする傾向



何かあると気持ちがしぼんだり、迷ったりするなどして、途中でくじけてしまうこともあるようです。たとえ時間がかかったとしても、自分なりの考えをまとめたものであれば、それほど簡単にあきらめなくなるはずですよ。応援してくれる仲間を見つけるなど、続けていくための環境づくりから始めてみるといいでしょう。

5 自己評価

■自己評価と行動予測の比較



■ヤル気の出出度について

積極的に仕事に取り組んでいると意識しているつもりでも、せっかくの前向きな気持ちが徒労に終わってしまうことがあるようです。職務内容が十分に理解できていない、周囲との協力関係がうまくいっていないなどということも考えられます。集中できずにいる理由を自分なりに見直してみて下さい。もの見方を変えることによって、職務行動は変容するものです。周囲の意見をよく聞く、受け持ちの仕事内容の理解を深める、目標を再確認するなど、小さなことから始めてみましょう。

■管理・対人能力について

周りとの関係、特に部下を引っ張っていくことができ、自分でも自信を持って行動しているようです。リーダーとしての役割を發揮する上では、自分の力を信じていることが重要です。的確な判断力、いざというときに動揺しない精神力など、必要な要素は様々ですが、やはり自分自身を評価していなくては、実際の行動が伴わなくなります。ただ、専門的な知識や技術力がなくては、説得力のあるリーダーがつかまりませんから、日々の自己鍛錬は必要不可欠です。ますますの活躍が期待できます。

■思考能力の発揮について

スキル面での自信があり、また新しい企画なども進んで発表していくことができるようです。職場に必要な人物として、高く評価されていることでしょう。自分らしい視点を外部に伝えていき、組織全体の活性につながっています。専門的な知識や洞察力など現在持っている能力は維持するだけでなく、さらに伸ばしていけば、周囲からの信頼もますます高まります。これらは自分の中だけにおさめているのではなく、他のメンバーにも伝えていくことが必要となります。リーダーとしての活躍を期待します。